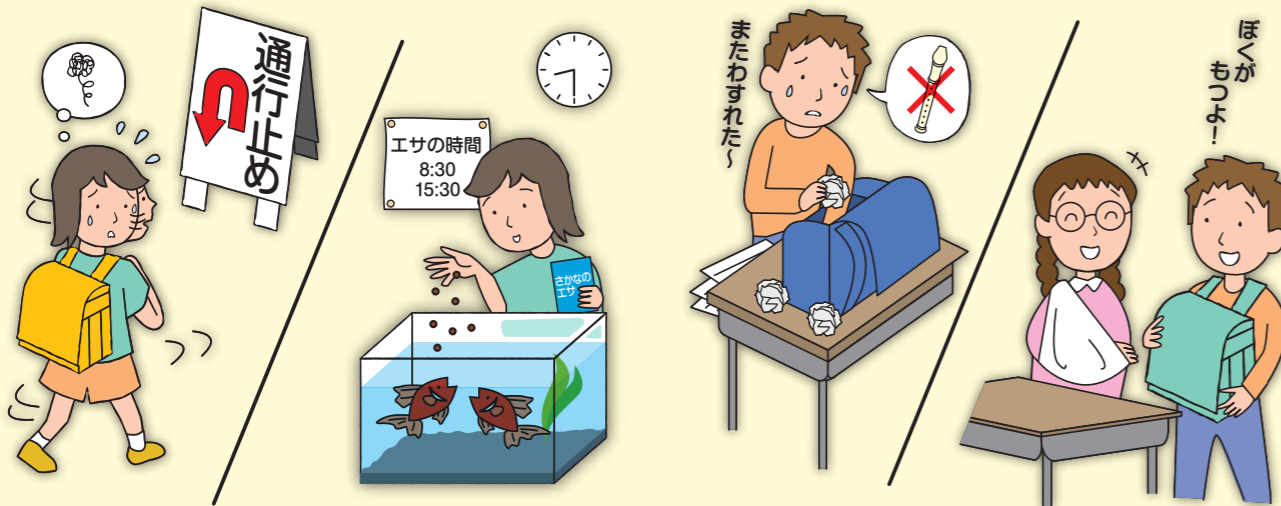


発達障害のある人のこと

知っていますか？

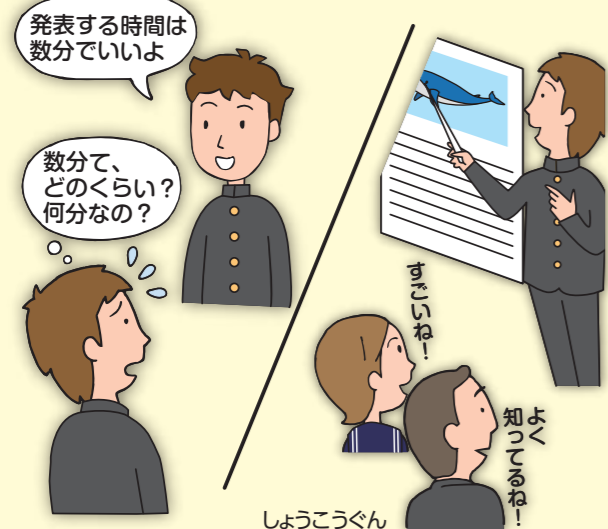
発達障害とは？

子どものころにわかる事が多い、脳機能の障害です。親のしつけや教育、本人の努力不足による問題ではありません。大人になるまで気づかず、大人になって診断を受ける人も増えています。



自閉症

急な予定変更や初めての場所などが苦手ですが、よく知っている場所ではとても意欲的に活動に取り組みます。



アスペルガー症候群

あいまいな表現を理解することが苦手ですが、興味、関心がある分野には、感心するほど、専門家並みに詳しい知識を持っています。

注意欠陥多動性障害 AD/HD

物や予定を忘れたり、落ち着きなく衝動的な行動を多くしてしまいがちですが、困っている人にいち早く気づき、手助けをすることができる気配り名人です。

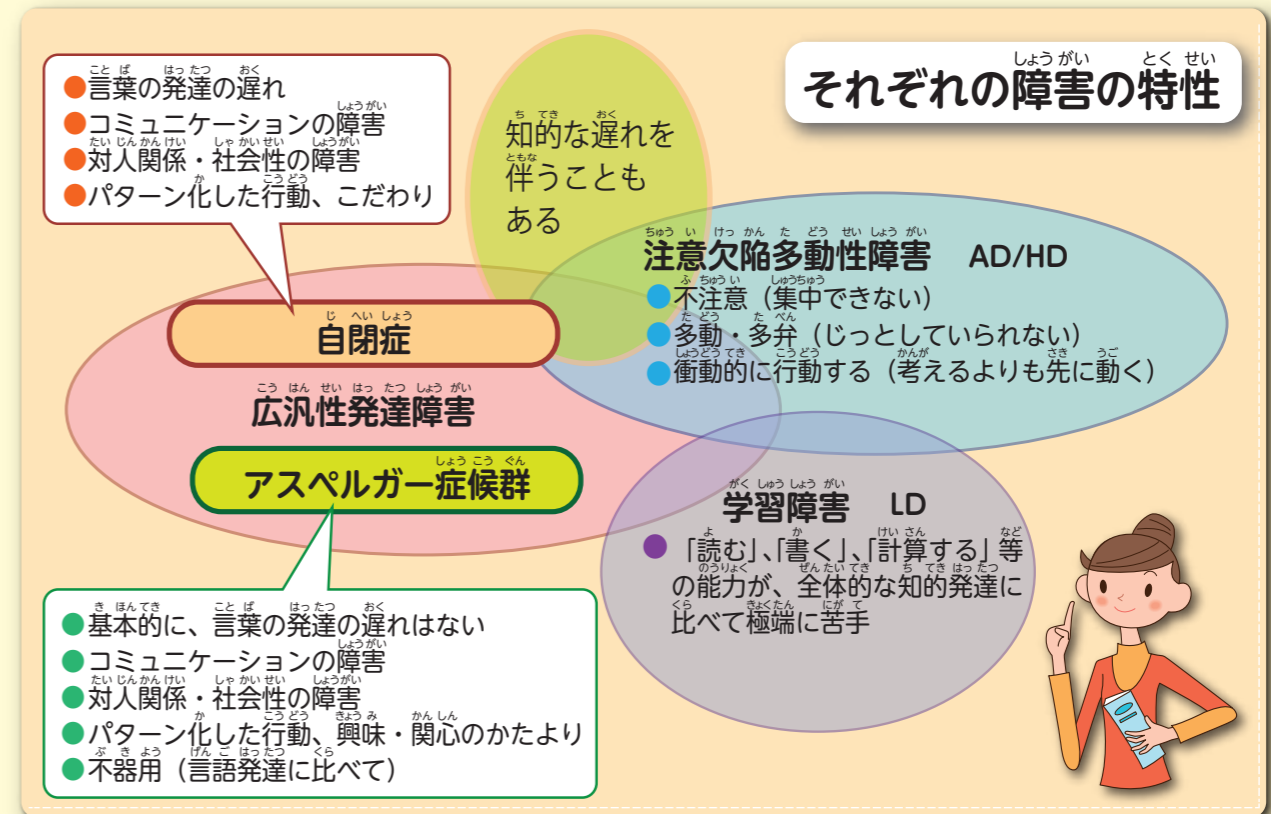


学習障害 LD

読み書きや計算が苦手ですが、ボイスレコーダーやタブレットを活用するなどのさまざまな工夫をすることで、活躍の場を広げることができます。

※上記の各特性・症状は、一例です。すべての発達障害の人に当てはまるものではありません。

発達障害にはいくつかの診断名がありますが、いくつかのタイプが重なっている事が多く、その重なり方や症状の現れ方などは、人によって異なります。「診断名=その人の特徴」とは決して言いきれないことが分かります。



※国際障害分類 (ICIDH) の改訂などに伴い、枠組みや名称が変更することがあります。

外見からは「障害がある」ことが判断しにくいので、誤解されてしまう事もあります。苦手なことで、優れた能力とのアンバランスな様子から周囲の理解が得にくく、それによりいじめをうけてしまう事があります。苦手なことが多くあっても、得意なことに磨きをかけて、特別な才能を発揮している人もいます。

- 分かりやすく、具体的(日時や場所など)に伝えましょう。
- 安心できる環境を作るなどの配慮や工夫が大切です。

私たちがサポートできること

